

# ～学びの軌跡～



◇田辺市地域コーディネーター養成講座・・・〔平成 20～22 年度〕

◇田辺市まちづくり市民カレッジ・・・・・・・・〔平成 23～25 年度〕

主催 田辺市教育委員会

協力 和歌山大学地域創造支援機構、南紀熊野サテライト

## ■ 目的

全国各地域の第一線で活躍されている一流どころの研究者や実践者を講師として田辺市に招聘し、その取組事例から現状把握・課題抽出・課題解決方法等を学び・学習し、個々の自主・主体性を育むことを目指した。

**平成 20 年度** 各地域において、公民館と連携して地域づくりを推進する人材の育成を目指し、地域づくりに関する課題解決能力、政策立案能力を高める連続講座を開設する。

**平成 21 年度** 各地域において、公民館と連携して地域づくりを支える人材の育成を目指し、地域課題解決への手がかりや、地域資源を活用した地域づくり活動の進め方などを学ぶ連続講座を開催する。※この講座は、「田辺市生涯学習推進計画」（平成 20 年 3 月策定）が掲げる 6 つの重点アクションプランの一つです。

**平成 22 年度** 各地域において、公民館と連携して地域づくりを支える人材の育成を目指し、地域課題解決への手がかりや、地域資源を活用した地域づくり活動の進め方などを学ぶ連続講座を開催する。※この講座は、「田辺市生涯学習推進計画」（平成 20 年 3 月策定）が掲げる 6 つの重点アクションプランの一つです。

**平成 23 年度** 田辺の豊かな自然、伝統、文化、歴史、産業など、地域に息づく貴重な資源を学ぶ中から、地域の魅力を再発見し、これからの地域を豊かにしていくために地元学講座を開設し、まちや地域を支える人づくりに努める。運営にあたっては、市民参画による企画会議を設けるとともに、高等教育機関等とも連携を図る。～この講座は、「田辺市生涯学習推進計画」（平成 20 年 3 月策定）が掲げる 6 つの重点アクションプランの一つです～

**平成 24 年度** 田辺の豊かな自然、伝統、文化、歴史、産業など、地域に息づく貴重な資源を学ぶ中から、地域の魅力を再発見し、これからの地域を豊かにしていくために地元学講座を開設し、まちや地域を支える人づくりに努める。運営にあたっては、市民参画による企画会議を設けるとともに、高等教育機関等とも連携を図る。～この講座は、「田辺市生涯学習推進計画」（平成 20 年 3 月策定）が掲げる 6 つの重点アクションプランの一つです～

**平成 25 年度** 地域の未来づくりには、地域の抱えている様々な課題に関心を持ち、その解決に向けた取組みを行い、新たな価値の創造へと結び付けていくことが求められています。本市では、地域に息づく豊かな自然・伝統・文化・歴史・産業など貴重な資源を学ぶ中から地域の魅力を再発見し、これからの地域を豊かにしていくために地元学講座を開設し、まちや地域を支える人づくりに努めます。平成 25 年度のテーマを「地域の未来を創造する市民力 ～学び、行動する市民へ～」として、地域の第一線で活躍されている研究者や実践者を講師に招き、地域の未来づくりにつながる市民力を育むことを目指します。運営にあたっては市民参画による企画会議を設置するとともに大学等高等教育機関と連携を図る。この講座は生涯学習推進計画が掲げる重点施策の一つです。

## ■ テーマ

- 平成 20 年度 公民館と連携して地域づくりを推進する人材の育成を目指す
- 平成 21 年度 人が輝けば！地域も輝く！！～地域づくりに浪漫を求めて～
- 平成 22 年度 人が輝けば！地域も輝く！！～地域づくりに浪漫を求めて～
- 平成 23 年度 東日本大震災は田辺市のまちづくりに何を問うのか
- 平成 24 年度 今ここにある危機の共有と自治を育む市民力の形成  
～東日本大震災・台風 12 号からの田辺市のまちづくりを考える～
- 平成 25 年度 地域の未来を創造する市民力 ～学び、行動する市民へ～

## ■ ポイント

各年において設定した年間テーマのほか、毎回のテーマも設定して講座を聴講した後は、各テーマに基づいたワークショップ・グループ協議を行った。また、最終回には、個人行動宣言「マイ・マニフェスト」を発表した。

講座聴講後のワークショップ・グループ協議では、各地域等を考慮したグループ編成（5～6 班程度）を行い、企画委員、公民館主事を各グループに均等に配置し、市民の方々と共同で学び・学習を行った。（司会進行・議長は受講生が積極的に受け持つように促した。）

## ■ 平成 20 年度

第 1 回 8 月 17 日

〔テーマ〕

まちづくりの役割はあなたたちです～生涯学習によるまちづくりとは～  
和歌山大学教授 堀内秀雄

〔内 容〕

- ※まちづくりは人づくり、人づくりは学びあいづくりから
- ※地域を創る「まちづくり」とは何か

第 2 回 9 月 28 日

〔テーマ〕

わがまち田辺の底力 ～市長が語る『地域力』とまちづくり～  
田辺市長 真砂充敏  
和歌山大学教授 堀内秀雄

〔内 容〕

- ※田辺市のまちづくり施策について
- ※『地域力』とは
- ※地域づくりに期待する市民の力

第 3 回 10 月 19 日

〔テーマ〕

- 子ども育ちと地域育ち ～「共育コミュニティ」とまちづくり～
- 和歌山県教育委員会教育長 山口裕市
- 和歌山大学教授 堀内秀雄

〔内 容〕

- ※和歌山県の人材育成戦略
- ※地域の力が子どもを育てる

第 4 回 12 月 21 日

〔テーマ〕

- 今こそ地域の力を①（田辺）
- 秋津野ガルテンができるまで ～グリーンツーリズムとまちづくり～
- 農業法人株式会社 秋津野ガルテン 取締役副社長 玉井常貴
- 助言者 京都大学大学院准教授 神吉紀世子

〔内 容〕

- ※秋津野ガルテンを中心に秋津野塾、産直販売所「きてら」等、上秋津の地域づくり活動の事例発表

第 5 回 1 月 18 日

〔テーマ〕

- 今こそ地域の力を②（本宮）癒しと蘇りをあなたに～本宮地域活性化活動～
- NPO 法人熊野本宮 事務局長 内野久美
- 助言者 和歌山大学紀南サテライト 地域連携コーディネーター 西川一弘

〔内 容〕

- ※地域資源を活用した熊野滞在のメニューを提供し、心の交流を図り地域活性化運動を実践する NPO 法人熊野本宮の活動を事例発表

第 6 回 2 月 8 日

〔テーマ〕

まちづくりの主演は私たち  
～地域コーディネーター養成講座研究発表会及びシンポジウム～  
パネリスト  
和歌山県教育委員会教育長 山口裕市  
田辺市長 真砂充敏  
紀伊民報編集局長 石井晃  
コーディネーター  
和歌山大学教授 堀内秀雄

〔内 容〕

- ※受講生グループ別に田辺市のまちづくりに対する提言
- ※発表者と講師を含めたシンポジウム

## ■平成 21 年度

第 1 回 9 月 6 日

〔テーマ〕

「地域づくりと生涯学習力」  
～地域コーディネーターに求められる資質～  
和歌山大学・副学長 生涯学習教育研究センター長 堀内秀雄

〔内 容〕

- ※地域コーディネーターの必要性、背景、役割とは
- ※地域づくりを担う人づくりのあり方とは
- ※グループに分かれファシリテーターの役割、技術を学ぶ

第 2 回 9 月 27 日

〔テーマ〕

地域を知ろう！調べよう！～わがまち田辺の現状～  
南紀若者サポートステーション  
天神崎（ナショナルトラスト発祥の地）の自然を大切にする会  
田辺市ごみ処理場職員  
高齢者複合福祉施設 たきの里職員

〔内 容〕

- ※観光・環境・福祉等に関わる施設等を訪問し、それぞれの課題や支援する側の思いなどを現地で学び、理解を深めるとともに、グループの研究テーマを考える

第 3 回 10 月 25 日

〔テーマ〕

若者の定住化をめざして！～地域の力でここまでできる～  
和歌山大学観光学部教授 藤田武弘

〔内 容〕

※食・農・都市と農山村をつないだ活力ある地域づくりの取り組み  
※地域資源の発掘や、発掘した資源の活用の方法について

第 4 回 12 月 20 日

〔テーマ〕

支え合いに愛を！支え合う心を地域づくりに！！  
～福祉と若者・福祉と高齢化～  
南紀若者サポートステーション 南芳樹  
田辺市社会福祉協議会 本宮地区事務所 折戸瑞穂  
和歌山大学理事・副学長 生涯学習教育研究センター長 堀内秀雄

〔内 容〕

※福祉の視点から、若者のあり方や高齢化を考える南さんからは、現在の若者が抱える課題について、折戸さんからは本宮地域の高齢者が抱える課題  
※若者、高齢者が抱える課題をどの様に解決するか  
※各グループ企画書発表会

第 5 回 1 月 24 日

〔テーマ〕

今年度の講座をまとめる！～研究発表会に向けて～  
和歌山大学紀南サテライト 地域連携コーディネーター 西川一弘

〔内 容〕

※観光・環境・福祉・若者・少子高齢化からテーマを絞り、まちづくりに向けた提言をまとめる

第 6 回 2 月 28 日

〔テーマ〕

まちづくりの主演は私たち  
～地域コーディネーター養成講座研究発表会及びシンポジウム～  
パネリスト  
県教育委員会教育長 山口裕市  
田辺市長 真砂充敏  
和歌山大学理事・副学長 帯野久美子  
コーディネーター

和歌山大学理事・副学長 生涯学習教育研究センター長 堀内秀雄

〔内 容〕

- ※受講生グループ別に田辺市のまちづくりに対する提言  
(ポスターセッションによる発表)
- ※地域づくりは人づくり ～受講生の提言を受けて～

## ■平成 22 年度

第 1 回 8 月 29 日

〔テーマ〕

「地域づくりと生涯学習力」～地域コーディネーターに求められる資質～  
和歌山大学地域連携・生涯学習センター長 出口 寿久

〔内 容〕

- ※地域コーディネーターの必要性、知識、役割とは
- ※地域づくりを担う人づくりのあり方とは
- ※グループに分かれファシリテーターの役割、技術を学ぶ

第 2 回 9 月 26 日

〔テーマ〕

地域を知ろう！調べよう！～わがまち田辺の現状～  
南紀若者サポートステーション  
統括コーディネーター 臨床心理士 大西浩太郎  
田辺市廃棄物処理課 能城圭司  
紀南こころの医療センター 精神保健福祉士 柳田利典／和田光弘

〔内 容〕

- ※環境・福祉・医療等に関わる施設を訪問し、それぞれの課題や支援する側の思いなどを現地で学び、理解を深めるとともに、グループの研究テーマを考える。

第 3 回 10 月 24 日

〔テーマ〕

農山村と街中をつなぐ活力ある地域づくり～地域のでここまでできる～  
芝っばさ農園園主 (上秋津) 芝翼  
南紀みらい株式会社 尾崎弘和  
和歌山大学南紀熊野サテライト 地域連携コーディネーター 西川一弘

〔内 容〕

※1次・2次・3次産業を繋いだ活力ある地域づくりの取り組み事例  
グループテーマづく、各グループからテーマ発表

第4回 12月19日

〔テーマ〕

活動をつなぐ、ひとをつなぐ、地域へつなぐ  
～高齢化社会の現実から、支えあう心を地域づくりに～  
まなびーねっと貝塚 安心して老いるための会 松岡伸也

〔内 容〕

※高齢化と核家族化の進行は、地域の変化、人の意識や人情にも変化を起  
している。  
※高齢者が抱える課題から、地域に必要な活動を生み出した、貝塚市の事例  
から学ぶ。

第5回 1月23日

〔テーマ〕

今年度の講座をまとめる！～研究発表会に向けて～  
和歌山大学南紀熊野サテライト 地域連携コーディネーター 西川一弘

〔内 容〕

※各グループテーマに基づき、今年度のまとめをグループごとに行う。  
※みんなでまとめたまちづくりの提言に向けた「思い」を「かたち」に表現

第6回 2月27日

〔テーマ〕

まちづくりの役割は私たち  
～地域コーディネーター養成講座研究発表会及びシンポジウム～  
パネリスト  
地域コーディネーター養成講座 第1・2・3期講座修了生  
企画委員  
田辺市長 真砂充敏  
コーディネーター  
和歌山大学理事・副学長 堀内秀雄

〔内 容〕

※受講生グループ別に、田辺市のまちづくりに対する提言を行う。  
※地域づくりは人づくり ～受講生の提言を受けて～

■平成23年度



第 1 回 9 月 25 日 71 名（一般 7 名）

〔テーマ〕

東日本大震災は田辺市のまちづくりに何を問うのか  
京都大学防災研究所巨大災害研究センター准教授 牧紀男

〔内 容〕

※東日本大震災を踏まえて、我々が考えるべき課題  
※生涯学習課報告 台風 12 号に伴う被害状況等について

第 2 回 10 月 23 日 71 名（一般 8 名）

〔テーマ〕

歴史、先人、そして現地に学ぶ  
昭和南海地震語り部 柏木多美男／川口明好

〔内 容〕

※昭和の南海地震を体験して、今、伝えたいこと  
※その時、何が起こったのか ～気仙沼で津波に遭い～

第 3 回 11 月 20 日 126 名（一般 71 名）

〔テーマ〕

地域コミュニティと減災  
関西学院大学総合政策学部教授 室崎益輝  
田辺市役所 井田範子

〔内 容〕

※東日本大震災の現地支援活動に参加して  
※巨大災害に備える・地域での減災と協働

第 4 回 12 月 11 日 112 名（一般 46 名）

〔テーマ〕

原発と新エネルギー  
元京都大学原子炉実験所助教授 海老澤徹  
和歌山大学経済学部教授 中村太和

〔内 容〕

※福島原発事故と放射能汚染  
※これからのエネルギー社会の姿：自然エネルギーと地域づくり

第 5 回 1 月 22 日 69 名（一般 10 名）

〔テーマ〕

ボランティア活動と地域づくり

大阪大学大学院人間科学研究科教授 渥美公秀

FORWARD 酒井豊

〔内 容〕

※災害救援ボランティア活動が地域にもたらしたもの

※台風12号災害の被災地支援に関わって～和大ボランティア団地

FORWARDの活動を通じて～

第6回 2月26日 81名（一般28名）

〔テーマ〕

復興～生活再生への道～

那智勝浦町長 寺本眞一

岩手県これからのくらし仕事支援室室長 吉田直美

〔内 容〕

※東日本大震災での生活の再建・再生のサポート

※現場は今、どうなっているのか

第7回 3月18日 88名（一般24名）

〔テーマ〕

安全・安心なまちづくりのために、今何ができるのか

和歌山大学理事・副学長 堀内秀雄

神戸大学大学院工学研究科教授 塩崎賢明

〔内 容〕

※私ができるまちづくりへの第一歩

※安心・安全なまちづくりのために、今、何ができるのか

## ■平成24年度

第1回 9月23日 77名（一般17名）

〔テーマ〕

自然エネルギーが開く未来～足るを知る社会へ～

NPO法人 地域再生機構 副理事 長野村典博／内海洋一

〔内 容〕

※東日本大震災以降、見直しがすすむ東海・東南海・南海地震（南海トラフ）

の最新情報  
※東日本大震災から田辺市のまちづくりは何を求められているのか  
そのために私たちは何ができるのか

第 2 回 10 月 28 日 77 名（一般 18 名）

〔テーマ〕

深層崩壊の現場から学ぶ  
和歌山大学システム工学部准教授 江種伸之  
長野町内会伏菟野区長 谷口順一

〔内 容〕

※深層崩壊について  
※森林破壊が及ぼす影響  
※森林保全につながる取組

第 3 回 11 月 18 日 136 名（一般 93 名）

〔テーマ〕

南海トラフ～危機の真相～  
関西大学社会安全学部教授、人と防災未来センター所長 河田恵昭

〔内 容〕

※東日本大震災での避難所運営・避難所生活の状況  
※災害弱者への対応  
※避難所運営に必要なリーダー像

第 4 回 1 月 20 日 62 名（一般 10 名）

〔テーマ〕

住民主体の復興計画  
立命館大学政策科学部教授 塩崎賢明  
大船渡市碁石地区復興協議会 及川宗夫

〔内 容〕

※台風 1 2 号災害を踏まえて災害時の限界集落での課題

第 5 回 2 月 24 日 65 名（一般 10 名）

〔テーマ〕

地場産業の復興  
龍谷大学政策学部准教授 深尾昌峰  
宮城県南三陸町復興実行委員長 山内正文

〔内 容〕

- ※東日本大震災の被災地での産業復興
- ※地場産業の復興
- ※田辺市での災害後の産業復興を考える

第 6 回 3 月 3 日 51 名（一般 5 名）

〔テーマ〕

避難所運営を学ぶ

東北大学大学院教育学研究科准教授 石井山竜平  
宮城県七ヶ浜町職員 飯野直樹

〔内 容〕

- ※地域の特性を生かした地産地消型の自然エネルギー
- ※自然エネルギーと地域自治

第 7 回 3 月 17 日 71 名（一般 16 名）

〔テーマ〕

災害からの復興と共生社会

和歌山大学名誉教授 堀内秀雄  
大阪大学大学院人間科学研究科教授 渥美公秀

〔内 容〕

- ※受講生の個人研究発表
- ※地域資源の創生と地域力の向上
- ※共生経済 自給圏形成、資源循環

## ■平成 25 年度

第 1 回 9 月 22 日 59 名（一般 10 名）

〔テーマ〕

地域づくりと社会教育～社会教育の実践がまちづくりの原動力～  
東北大学大学院教育学研究科准教授 石井山竜平

〔内 容〕

- ※地域づくりに果たす社会教育の役割
- ※社会教育の実践がまちづくりの原動力
- ※今、私たちができること

第2回 10月27日 38名（一般5名）

〔テーマ〕

あの時、避難所は・・・“おだがいさま”が支えた

169日間～ビッグパレットふくしま避難所がおしえてくれたこと～

福島大学うつくしまふくしま未来支援センター特任准教授 天野和彦

〔内 容〕

※ビッグパレットふくしま避難所の状況

※避難所運営と社会教育

※日常からの取組と社会教育の役割

第3回 11月4日 162名（一般113名）

〔テーマ〕

想定外を生き抜く力～地域と学校が連携した防災教育か～

群馬大学教授・群馬大学広域首都圏防災研究センター長 片田敏孝

〔内 容〕

※想定外を生き抜く力

※命を守る主体的姿勢を育む防災教育

※田辺市で進める防災教育

※地域が学校と連携してできること

第4回 12月15日 42名

〔テーマ〕

地域づくりカルテの必要性とその手法①

COM計画研究所副代表 広沢真佐子

〔内 容〕

※地域づくりカルテの必要性とその手法について

※事例を用いての演習

第5回 1月26日 41名（一般1名）

〔テーマ〕

“やねだん”の地域再生～優れた人財は社会の財産～

鹿児島県鹿屋市串良町柳谷自治公民館長 豊重哲郎

〔内 容〕

※鹿児島県鹿屋市柳谷集落「やねだん」の取組

※行政に頼らない地域再生  
※地域の活動源は「人」

第6回 2月23日 38名

〔テーマ〕

地域づくりカルテの必要性とその手法②  
COM計画研究所副代表 広沢真佐子

〔内 容〕

※地域づくりカルテの必要性とその手法について  
※事例を用いての地域づくりカルテ発表

第7回 3月23日

〔テーマ〕

フォーラム「地域の未来を創造する市民力～学び、行動する市民へ～」  
和歌山大学名誉教授 堀内秀雄  
COM計画研究所副代表 広沢真佐子

〔内 容〕

※フォーラム、各班発表

## ■ 成果

各年・各回の講座運営等においては、十数名の企画委員（市民、大学教員、社会教育委員、地域コーディネーター養成講座・まちづくり市民カレッジ修了生等）による企画委員会を設置し、毎回、講座運営等における議論を深め、市民参画、協働による事業展開に努めた。また、講座修了後は、各地域の生涯学習・社会教育活動等の運営に協力をいただいている。学び・学習の積み上げの中では、各年の目的・テーマに沿った現状把握、課題抽出、課題解決の方法を習得するため、ワークショップやグループ協議で議論を深め、さらなる発展的な課題・解決へと持続・継続してきた。